

# JCL TEAM UKYO

Tour of JAPAN Stage7 Sagamihara

JCL TEAM UKYOのホームステージ相模原  
カルボーニ選手のリーダーの座をチーム一丸で守りきる！



日程 2024年5月25日

ステータス:UCI2.2

ステージ:TOJ Stage7 ロードレース 107.3km

チーム数 16チーム 84名出走 80名完走

JCL TEAM UKYOメンバー:アール、山本、石橋、小石、マルチェッリ、カルボーニ

ボアロ監督 / ポルピGM

大会HP:<https://www.toj.co.jp/>

チームHP: <https://jcl-team-ukyo.jp/>

Images of Stage7: <https://img.gg/KE9amsG>



JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ：株式会社ジャパンサイクルリーグ

吉澤 苑実（広報）Mail: [media@jcleague.jp](mailto:media@jcleague.jp) TEL: 090-7511-7584

菅 洋介（広報）Mail: [yosukesuga0226@gmail.com](mailto:yosukesuga0226@gmail.com)





JCL TEAM UKYOの本拠地である相模原市をスタートする第7ステージ。宮ヶ瀬湖を中心としたコースレイアウトで、アップダウンとブラインドコーナーも多い地形はアタックを誘発しやすく、ゴールは宮ヶ瀬湖へ登り切ってから現れるホームストレートで最後の駆け引きは熾烈になります。

昨日の富士山ステージでの優勝でライバルに対して大きくリードしたカルボーニ選手。

JCL TEAM UKYOはこのステージで彼のアドバンテージをキープするコントロールが最大のミッションとなりました。



# JCL TEAM UKYO



レースは橋本駅をスタートして宮ヶ瀬湖の周回コースに入るとVICTOIRE キンテロ選手のスピードアップから火ぶたを切ったように各チームの攻撃の応酬がはじまります。ここで出来たのは16名のグループ、スプリントポイントの攻防で緩んだ隙に山本選手、小石選手らの猛追でこれを吸収、勢いを緩めずに攻撃を誘発させないハイペースを作り出します。



しかし4周目、山岳賞を機に再びレースが活性化、その中から6名が抜け出しレースが動きます。メンバーはSHIMANO入部 選手と 風間選手、MATRIX 織田選手、ROOJAI エングレン選手、KINAN 孫崎選手、AISAN 草場選手。

JCL TEAM UKYOはこの先行メンバーのエンングレン選手以外は個人総合を揺るがすメンバーでないことからこれを容認します。1分半まで開いたこの逃げの追走の中心になったのはジャパンナショナルチームでした。



JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ：株式会社ジャパンサイクルリーグ  
吉澤 苑実（広報）Mail : [media@jcleague.jp](mailto:media@jcleague.jp) TEL : 090-7511-7584  
管 洋介（広報）Mail : [yosukesuga0226@gmail.com](mailto:yosukesuga0226@gmail.com)



# JCL TEAM UKYO



そして、残り1周に入る前に30秒近くまで差を詰めると追走のプロトンからナショナルチームの児島選手とASTANA ウォーカー選手が勢いよく飛び出し先行グループへのブリッジに成功します。プロトンの追走が迫る状況からさらにウォーカー選手が飛び出すとグループは崩壊。

児島選手とそれまで逃げていたROOJAI エングレン選手がこれにジョイントし、最終回を逃げ続けます。プロトンとの差は1分、プロトンはこの差を埋めるべくスプリンターを擁するチームがフォーメーションを組みはじめます。

JCL TEAM UKYOは連日のコントロールでこの動きを制する事は出来ず、展開によって他チームを利用して勝負する流れに切り替えます。



残り200m、5秒ほどのアドバンテージを保ったまま3名がホームストレートに現れます。このスプリントを制したのは第1ステージの覇者ウォーカー選手。

そして、プロトンの3番手でカルボーニ選手がゴールに飛び込みタイム差を5秒に留めます。結果、カルボーニ選手は個人総合2位と2分のタイムギャップを保つことに成功しました。



JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ：株式会社ジャパンサイクルリーグ  
吉澤 苑実（広報）Mail : [media@jcleague.jp](mailto:media@jcleague.jp) TEL : 090-7511-7584  
管 洋介（広報）Mail : [yosukesuga0226@gmail.com](mailto:yosukesuga0226@gmail.com)





カルボーニ選手のコメント

「序盤から攻撃が続く非常にハードなステージ。この  
 厳しいコースでもチームメイトたちが窮地に陥らないコ  
 ントロールを徹してくれました。明日のステージはフラ  
 ットステージ。最後まで緊張しますが、アドバンテージ  
 を保てた今日の結果は大きかったと思う」

**明日はTour of JAPAN 最終東京ステージ！  
 カルボーニ選手の首位を最後まで一丸となって守ります！**

**Stage7 Result TOP3**

107.5km Ave 44.5km/h

1 WALKER Max	ASTANA KAZAQSTAN	2:24'45"
2 VAN ENGELEN Adne	ROOJAI	+0'00"
3 KOJIMA Naoki	JAPAN NATIONAL	+0'02"
6 CARBONI Jovanni	JCL TEAM UKYO	+0'05"

**General classification After Stage6**

1 CARBONI Jovanni	JCL TEAM UKYO	16:31'34"
2 GHEBREMEDHIN Kudus	TERENGGANU	+2'07"
3 DYBALL Benjamin	VICTOIR HIROSHIMA	+2'12"
18 EARLE Nathan	JCL TEAM UKYO	+8'22"
20 YAMAMOTO Masaki	JCL TEAM UKYO	+10'11"

